

## 【引用文献】

- 相川章子(2013). *精神障がいピアサポーター 活動の実際と効果的な養成・育成プログラム*. 東京:中央法規出版
- 相川章子(2014). ピアスタッフの現在と未来—日本の精神保健福祉の変革を目指して. *精神医療* 74(4) 36-45
- 朝比奈寛正(2016). 高知県精神障害者地域移行支援特別対策事業における専門職の課題抽出 —プロシューマーと専門職による協働支援に着目して—. *高知県立大学紀要 社会福祉学部編* 第66巻 145-160
- Deegan, P. E. (1988). Recovery: The lived experience of rehabilitation. *Psychosocial rehabilitation journal*. 11(4) 11-19
- Doherty, I., Craig, T., Attafua, G., Boocock, A., & Jamieson-Craig, R. (2004). The consumer-employee as a member of a mental health assertive outreach team. II. Impressions of consumer-employees and other team members. *Journal of mental health*, 13(1), 71-81
- Flick, U. (2011). *Qualitative Sozialforschung von Uwe Flick* 新版 質的研究入門〈人間の科学〉のための方法論. (小田博志, 山本則子, 春日常, 宮地尚子, Trans.). Tokyo: Shunjusya 春秋社. (Original work published 2007)
- 藤井千代(2018). 精神科医療の主役は誰か. *日本社会精神医学会雑誌*. 27(3) 204-205
- 藤本裕二, 藤野裕子, 楠葉洋子(2013). 地域で暮らす精神障がい者のリカバリーに影響を及ぼす要因. *日本社会精神医学会誌* 22(1) 20-31
- 藤本裕二, 藤野裕子, 松浦江美, 楠葉洋子(2017). 地域で暮らす統合失調症者のリカバリーレベルと背景要因との関連. *日本健康医学会誌* 25(4) 335-339
- 濱田由紀(2015). 精神障害をもつ人のリカバリーにおけるピアサポートの意味. *日本看護科学会誌* 35. 215-224
- 金文美, 橋本達志, 村上貴栄(2014). *事例でわかるピアサポート実践 精神障害者の地域生活がひろがる*. 東京:中央法規出版
- Kilpatrick, E. K., Sinead, M., & Claire O. (2017). Tokenistic or genuinely effective? Exploring the views of voluntary sector staff regarding the emerging peer support worker role in mental health. *J Psychiatr Ment Health Nurs*, 24(7), 503-512
- 厚生労働省(2015). 平成 26 年度精神障害保健福祉等サービス提供体制整備促進事業に関する調査研究. 「ピアサポートの活用状況に関する調査」 報告書
- 厚生労働省(2017a). これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会報告書
- 厚生労働省(2017b). 精神障害者の地域移行担当者等会議平成 28 年度第 2 回会議 各自治体事前課題シート
- 厚生労働省(2018). 「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」の構築～各自治体における精神障害に係る障害福祉計画の実現のための具体的な取組～第 90 回社会保障審議会障害者部会資料

- 松本真由美, 上野武治 (2013). 精神障害者地域移行支援事業におけるピアサポートの効果 仲間の支援と熟達の支援の意義について. *精神障害とリハビリテーション* 17(1) 60-67
- Ragins, M. (2005). *A road to recovery* ビレッジから学ぶリカバリーの道 精神の病から立ち直ることを支援する. (前田ケイ, Trans.). Tokyo: Kongosyuppan 金剛出版. (Original work published 2002)
- 向谷地生良 (1996). 「べてるの家」から学ぶもの 精神障害者の生活拠点づくりの中で. *こころの科学* 67. 8-12
- 仲眞隼人, 西原美智子, 藤江千恵子 (2016). 長期療養者の退院に対する意識調査 ピアサポート交流会を通して. *日本精神科看護学術集会誌*. 59(1) 312-312
- 野中猛 (2005). リカバリー概念の意義. *精神医学* 47(9) 952-961
- Pitt, V., Lowe, D., Hill, S., Prictor, M., Hetrick, S.E., Ryan, R., & Berends L. (2013). Consumer-providers of care for adult clients of statutory mental health services. *Cochrane Database Syst Rev.* 28(3)
- 菅一 (2014). 医療・福祉の連携における看護師の役割地域移行支援事業を通して. *日本精神科看護学術集会誌*. 57(3) 68-72
- Strauss, A.L., & Corbin, J.M. (2004). *Basics of Qualitative Research: Techniques and procedures for developing grounded theory, 2nd ed* 質的研究の基礎グラウンデッド・セオリー開発の技法と手順 第2版. (操華子, 森岡崇, Trans.). Tokyo: Igakusyon 医学書院. (Original work published 1998)
- [The Substance Abuse and Mental Health Services Administration \(SAMHSA\), U.S. Department of Health and Human Services. https://copelandcenter.com/peer-specialists](https://copelandcenter.com/peer-specialists)
- 特定非営利活動法人十勝障害者サポートネット (2010). 厚生労働省平成 21 年度障害者自立支援調査研究プロジェクト 「精神障害者のピアサポートを行う人材を育成し、当事者の雇用を図るための人材育成プログラム構築に関する研究」ピアサポート養成研修講義資料
- 特定非営利活動法人びあ・さぼ千葉 (2011). 厚生労働省 H22 年度障害者総合福祉推進事業 ピアサポートの人材育成と雇用管理等の体制整備のあり方に関する調査とガイドラインの作成. 第 1 章 日本におけるピアスペシャリストの現状と課題の整理
- 柳尚夫 (2017). 保健所によるアウトリーチ支援. *臨床精神医学* 46(2) 161-165
- Yoshifumi Kido, & Mami Kayama. (2017). Consumer providers' experiences of recovery and concerns as members of a psychiatric multidisciplinary outreach team: A qualitative descriptive study from the japan outreach model project 2011-2014. *PLoS One*, 12(3), e0173330. 10.1371